

白井第二小学校区みどりの里づくり協議会設立総会

日 時 令和4年1月15日(土)
午後6時30分から
場 所 白井市公民センター

次 第

1. 開会のことば
2. 設立準備会会長あいさつ
3. 来賓祝辞・紹介
4. 設立準備会報告
5. 議長選出
6. 議 事
議案第1号 白井第二小学校区みどりの里づくり協議会会則(案)
議案第2号 白井第二小学校区みどりの里づくり協議会役員(案)
議案第3号 白井第二小学校区みどりの里づくり協議会
まちづくり計画(案)
議案第4号 白井第二小学校区みどりの里づくり協議会
令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案)
7. 議長退任
8. 閉会のことば

白井第二小学校区みどりの里づくり協議会設立にあたって

『まちづくり、今がその時！』

白井第二小学区みどりの里づくり協議会
会長 小林 正 継

少子高齢化と過疎化が最も進んでいる地域という現実が、白井第二小学校の児童が100人を割るといふ否定しようのない数字となって現れて来て、私の危機意識は一気に高まりました。自分を含めて高齢者が多いのは、平均寿命が延びて来たから当然だと思っていました。しかし子供の数がもう一刻の猶予もない減少状況を、ただ見過ごしているわけにはいきません。何か行動しなくてはという思いが、教育委員という立場を利用しての教育委員会での発言となり、教育委員会が、市内のどこからでも入学できる特認校、少数でも学童を設置してくれると言う方向に動いてくれました。

一方、地区社協の推進員になっていたことから、高齢者の一人暮らしや、昼間一人で留守番、体力が弱れば施設への入所という現実が加速的に進んでいる事実にも危機を感じました。自分たちが動ける間は何とかなるが、動けなくなったら、この地域はどうなってしまうのか、わずかに残ってくれている若い世代の人々が、多くの高齢者を世話しきれない、公的な機関や施設に預けようとしても空きが無いかもしれない。このままでは元気の無い淋しい地域になってしまうかもしれないと思いました。

まちづくり協議会設立に向けてのスタートは、いち早く将来の危機を理解している行政側からの呼び掛けでした。現代社会では、行政の援助は当然ですが、年金や医療費の経費の増大で、援助しきれなくなる日が来るということが、待ったなしです。その前に地域自らが互いに助け合い、行政と一緒にあって対策を打っておかなければならないのです。また何となく暮らしてきた自らの地域の魅力を発見してPRに務め、他地域からの訪問客を増やすことも含め、元気な人々の交流や経済活動、文化活動を展開することによって、相互扶助の雰囲気高め、高められた魅力に惹かれて若者たちが定着あるいは流入することで、次の世代まで元気な雰囲気をつなげていく事が、絶対必要です。

主役は、今この地域に住む一人一人です。“おらがまちをおれたちが元気にする”という思いをもって活動して行く。これがまちづくりです。一人ではアイデアも出にくいし、消極的になります。皆さんが個性を生かして意見を出し合い活動をすれば、いろいろなことが考えられ、多様なことが実施できます。後期高齢者に近づいている私ですが、自分自身の将来、仲間たちの将来も見据えて、若者たちにできるだけ負担のかからない地域を作り上げて、自然な形で若い世代に受け継いでいける第二小学区にしたい。それが私の夢です。

今スタートしなければなりません。元々、人々のつながりが良かったこの地域が他に先駆けてこのまちづくり協議会を設立できることを誇りに思います。皆さん、一緒に「伝統と新しさが調和するみどりの里」を作り上げていきましょう。

令和4年1月15日